

吉田中学校平成24年度同窓会

平成24年10月24日中区山下町にて『吉田中学校平成24年度同窓会』が開催されました。会場となった『メルパルク横浜』には40名余りのご来賓の方や卒業生が集まりにぎやかに同窓会パーティを楽しみました。



式の初めに出席者全員で校歌斉唱

会は岡本修司さん（21期生）の司会進行で始まり、最初に全員で校歌を斉唱し、そのあと挨拶にたった中村宣吉同窓会会長（4期生）は『平成19年に再発足した当同窓会も会の目標の一つの卒業生の親睦を図ることに努め、今年で5回目の同窓会パーティを開くことができました。また今回記念すべき回に同窓会の椎名巖名誉会長（桂 歌丸師匠・5期生）をお呼びすることができたことは喜ばしい限りです』と同窓会の再発足の経緯から最近の学校を取り巻く合併問題などの話を交えながら今回卒業生で現在活躍されている桂歌丸師匠を招いたいきさつなど挨拶されました。

ご来賓として宮川素直元校長先生を初め小池弘子先生、猪熊真理子先生、鈴木満先生の歴代校長先生方にもご出席いただき、また学校より出川進校長先生、熊野一隆副校長先生、PTA会長栗原明子さんにもご出席いただき、宮川先生よりご挨拶をいただきました。小池先生からは母校吉田中学校が来年4月から富士見中学校と合併して新生『横浜市立横浜吉田中学校』となってスタートいたしますが、これまでの母校の歴史を綴った記録写真集が編纂されたことが報告されました。



中村宣吉同窓会会長の挨拶



ユーモアたっぷりに挨拶される椎名巖（桂歌丸師匠）
同窓会名誉会長

また、椎名巖同窓会名誉会長から在学中当時の思い出話を初め落語家の道に進まれたいきさつや最近の日常の出来事などユーモアたっぷりに時にピリリと辛いご挨拶をいただきました。

このあと参加者全員で記念写真をとり、にぎやかに歓談を楽しみました。この日会場となった7階の部屋は前面にみなとみらいと横浜港の夜景がきれいに

眺望できるメルパーク横浜ではいちばんの部屋ということでしたが、当日参加されたひとでその夜景を堪能されている方は見受けられなかったようでした。会場の中といえども熱気に満ちてテーブル毎に絶えることのない談笑の渦、渦、渦という感じで目が回りそうでした。楽しい会話は時間がいくらあってもつきそうもありませんでしたが時間もだいぶ超過してしまい名残惜しいところでしたが最後に恒例となった三本締めを三橋一夫さん（11期生）の音頭で陽気に締めて本会もお開きといたしました。



歴代の校長先生・同窓会名誉会長・同会長を囲んで

先生方、卒業生のみなさん本当に有難うございました。同じ吉田の仲間であることに感謝します。皆様がたのご健康とご多幸を祈念いたします。